

令和6年度版

よ く わ か る 公 共 事 業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

邑楽館林地域



一級河川休泊川（下流工区） 河川改修



一級河川多々良川 河川改修



県道山王赤生田線（楠工区） バイパス整備



県道今泉館林線（上江黒工区） 歩道整備



ていぼう
堤防

どんな効果
があるの？



はし
橋

事業の進み
具合は？

何のために事業
しているの？



どうろ
道路

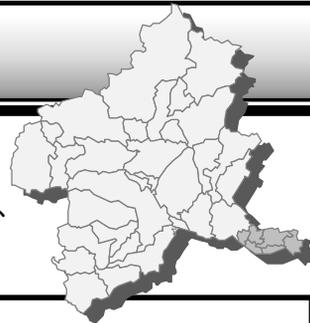
どんな事業？



こうえん
公園

邑楽館林地域

邑楽館林地域は、全体がほぼ平坦地で、県内で最も東京に近い60～70km圏内に位置し、東北方面へのアクセスも良く、栃木・埼玉・茨城の各県とは、住民生活や産業面等で相互に深くつながっています。また、外国人住民の居住割合が高いことも、この地域の特徴です。



地域の優れた特性

- 栃木県南西部とは両毛地区として一体感があるほか、埼玉県や茨城県とも近く、県境を越えた交流が多くなっています。
- 東京圏からは東武鉄道や東北道・圏央道等の交通網でつながっており、製造業を中心に企業が進出しやすい立地条件にあります。
- 高速道路網が充実しており、食品企業等多くの企業が進出しています。

地域の現状と課題

- 令和元年東日本台風など、近年、頻発する気象災害を踏まえ、水害災害リスクを軽減するための取組が求められています。
- 利根川及び渡良瀬川などが氾濫した際には、地域のほぼ全域が浸水するとの想定がされており、市町村や県を越えた広域避難体制の構築が求められています。
- 豪雨時や地震時においても、円滑な避難や迅速な救命救助、復旧復興を可能にするための取組が求められています。
- 市街地を中心に交通渋滞が発生しており、市街地等の円滑な交通を確保し、県境を越えた周辺地域との連携強化を図るための取組が求められています。
- 既存の高速道路を有効活用し、物流の効率化や地域経済の活性化等の促進と大規模洪水時の広域避難に活用するための取組が求められています。
- 通学路の歩道整備率が県内の他地域に比べて低く、交通人身事故発生件数も多いことから、歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が必要です。



県民の声

- 関東・東北豪雨における鬼怒川の決壊を踏まえ、水害対策を拡充してほしい。
- 大雨時の道路冠水の対策や、避難経路となる道路の整備を進めてほしい。
- 歩道が整備されていない通学路の歩道整備をしてほしい。
- 交通量が多く、渋滞している箇所の対策をしてほしい。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 令和元年東日本台風と同規模の豪雨による水害リスクを軽減するため、一級河川谷田川の堤防強化等を推進します。
- ② 社会経済の壊滅的な被害を回避するため、一級河川休泊川の河川改修等を推進します。
- ③ 利根川及び渡良瀬川などの広域的な氾濫時に迅速かつ確かな避難行動ができるよう、市町の広域避難体制の確保に向けた取組を支援します。
- ④ 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道354号の電線共同溝の整備等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 市街地内の渋滞を解消するとともに、県境を越えた周辺地域との連携強化を図るため、地域の南北軸となる国道122号館林バイパスの整備等を推進します。
- ② 物流の効率化や地域経済の活性化、さらには利根川や渡良瀬川等における洪水時の広域避難体制構築に向け、東北自動車道の新たなスマートIC整備に向けた技術的な支援を行います。
- ③ 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道今泉館林線の歩道整備や県道綿貫篠塚線の電線共同溝の整備等を推進します。

～掲載事業一覧～

邑楽館林地域

番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
1	堤防強化	板倉町海老瀬ほか	一級河川谷田川	1
2	河川改修	大泉町西小泉～太田市内ヶ島町	一級河川休泊川(上流・下流工区)	2
3		邑楽町中野～石打	一級河川多々良川	3
4		明和町須賀～入ヶ谷	一級河川新堀川導水路	4
5		館林市入ヶ谷町～邑楽町赤堀	一級河川新堀川	5
6		電線共同溝	館林市小桑原町	国道354号(小桑原町工区)
7	館林市緑町		国道354号(緑・美園町工区)	7
8	老朽橋梁架替	館林市入ヶ谷町～明和町入ヶ谷	県道矢島大泉線(谷田川橋)	8
9	バイパス整備	館林市楠町	県道山王赤生田線(楠工区)	9
10		館林市北成島町～苗木町	国道122号(館林バイパス)	10
11	歩道整備	板倉町除川	県道館林藤岡線(除川工区)	11
12		館林市高根	県道足利館林線(高根工区)	12
13		明和町中谷	県道麦倉川俣停車場線(中谷工区)	13
14		明和町上江黒	県道今泉館林線(上江黒工区)	14
15		邑楽町光善寺	県道足利邑楽行田線(光善寺工区)	15
16		館林市本町	(都)中央通り線	16
17	電線共同溝	大泉町東小泉	県道綿貫篠塚線(東小泉工区)	17
18		館林市大手町	県道佐野行田線(大手町工区)	18

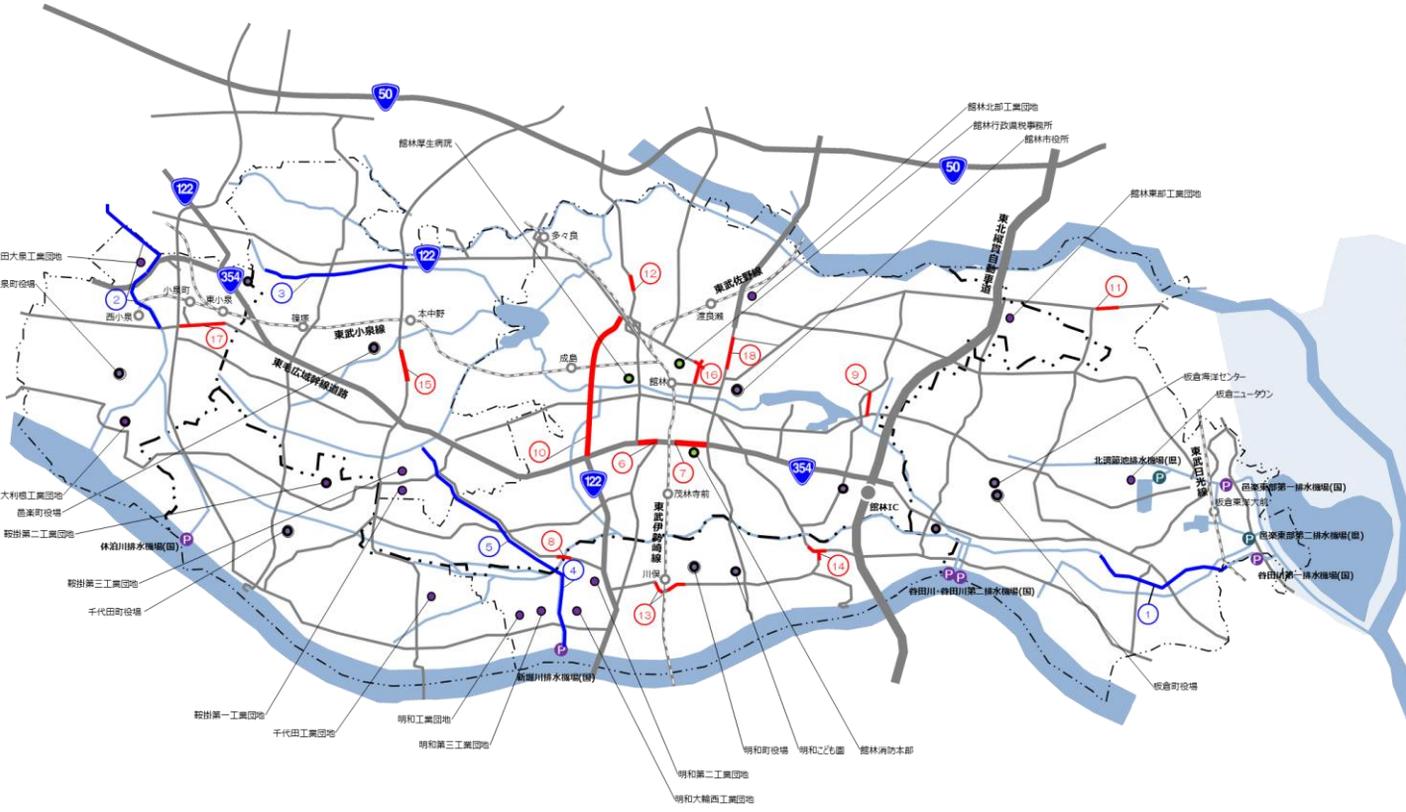
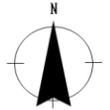
凡 例

【事業分野区分】

- 道路事業
- 河川事業
- 砂防事業
- その他事業（下水・住宅・公共交通等）

【その他】

- 主要な防災拠点（1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）





どのような未来を目指すための事業か

令和元年東日本台風と同規模の豪雨による
河川氾濫の水害リスクを軽減するため

堤防の弱点を改善して
堤防を強化しました

地元の声

・大雨のときに堤防から漏水があって不安（地元住民）

事業前

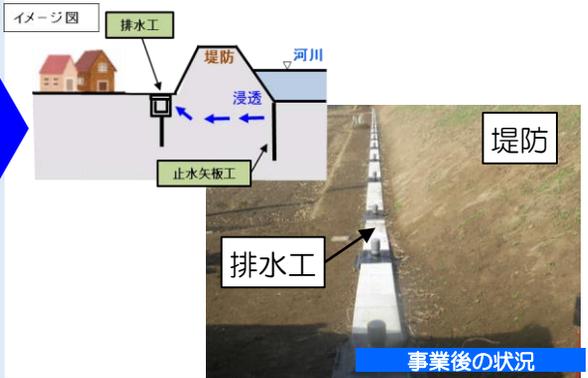
◆河川水位が高い状況が続くと、堤防内に河川水が浸透し、漏水をきっかけに決壊するおそれがありました。



事業前の状況

事業後

◆堤防に浸透した水を速やかに排水することで、堤防の決壊を防ぎ、洪水による被害を軽減しました



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：板倉町海老瀬（ほか）
- 事業内容：堤防強化 延長 3,800m
- 事業期間：令和元年度～令和2年度



事業の進捗状況（令和2年度完了）

今、何をしているか

令和2年度に堤防強化が完了し、洪水による被害のリスクを軽減しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

一級河川 休泊川 (上流・下流工区) 河川改修事業

事業継続中

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる
水の量を増やします

地元の声

- ・鉄橋部分が狭く上流の水位がすぐに上がるので不安。(地元住民)
- ・台風の時などに川が溢れないか心配だ。(地元住民)

事業前

- ◆ 大雨の時は河川の水位が上昇し、浸水被害が発生するおそれがあります。

平成27年7月の出水



事業前の状況

事業後

- ◆ 川幅を拡げ、流せる水の量を増やすことで、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ(一例)

事業の概要

- 事業箇所：大泉町西小泉～いずみ
- 事業内容：河川改修(河川拡幅) 延長 3,800m
 - 下流工区 延長 1,700m
 - 上流工区 延長 2,100m
- 事業期間：下流工区:平成4年度～
上流工区:平成4年度～



事業の進捗状況(令和6年3月末現在)

今、何をしているか

令和6年度は、河道拡幅のため、御蔵橋架替工事及び赤地藏堰の改築工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げ、堤防をつくり、流せる水の量を増やします

地元の声

- ・台風時は、田畑が浸水し稲作被害が発生している。堤防を造ってほしい。（地元住民）
- ・河川沿いの土砂が大雨のたびに流される。早く改修してほしい。（地元住民）

事業前

◆大雨の時は河川の水位が上昇し、浸水被害が発生するおそれがあります。



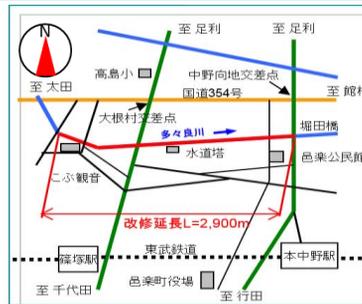
事業後

◆川幅を拡げ、流せる水の量を増やすことで、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。

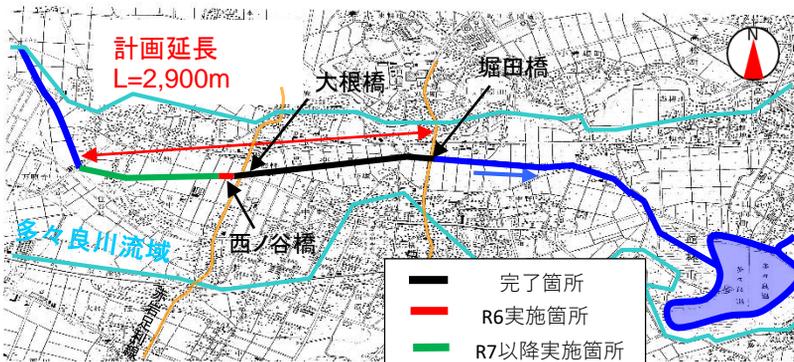


事業の概要

- 事業箇所：邑楽町中野～石打
- 事業内容：河道拡幅 築堤 延長 2,900m
- 事業期間：平成13年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は、西ノ谷橋上下流（左右岸）の護岸工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる水の量を増やします

地元の声

・台風の時などに川が溢れそうで心配だ。（地元住民）

事業前

◆大雨の時は河川の水位が上昇し、浸水被害が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

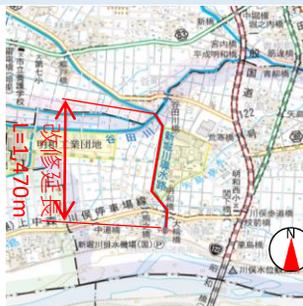
◆川幅を拡げ、流せる水の量を増やすことで、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ（一例）

事業の概要

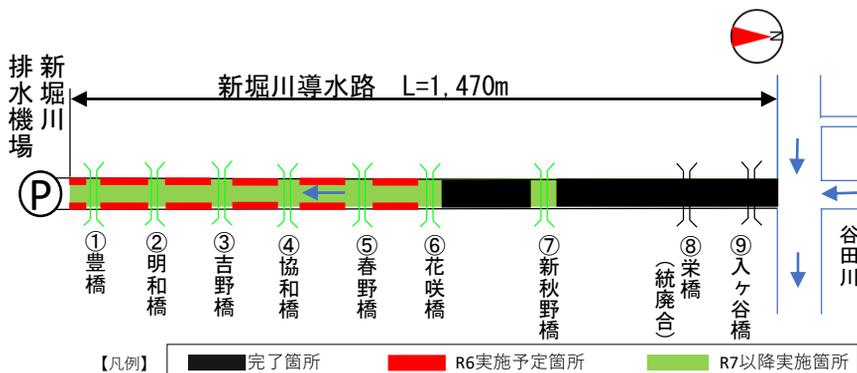
- 事業箇所：明和町須賀～入ヶ谷
- 事業内容：河道拡幅 延長 1,470m
- 事業期間：平成30年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）

今、何をしているか

令和6年度は、矢板護岸工事を実施します。



事業のすすみ具合





どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる
水の量を増やします

地元の声

・台風の時などに川が溢れそうで心配だ。（地元住民）

事業前

◆ 大雨の時は河川の水位が上昇し、浸水被害が発生するおそれがあります。

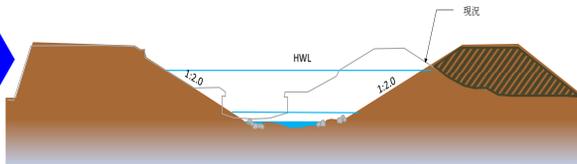
出水状況（H29年台風21号）



事業前の状況

事業後

◆ 川幅を拡げ、流せる水の量を増やすことで、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

事業の概要

- 事業箇所：館林市入ヶ谷町～邑楽町赤堀
- 事業内容：河道拡幅 延長 3,890m
- 事業期間：平成30年度～



事業位置
館林市
～邑楽町

事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



令和6年度 河川改修計画の検討

今、何をしているか

令和6年度は、河川計画の検討を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して電柱を撤去します

地元の声

- ・東北自動車にもつながる主要道路。災害時にも通れるようにしてほしい。(地元住民)
- ・狭い歩道の中に電柱があるため、歩きづらい。(地元住民)

事業前

- ◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ (一例)

事業の概要

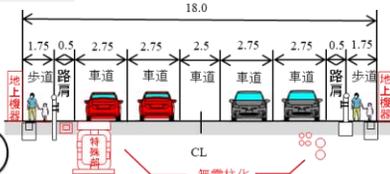
- 事業箇所：館林市小桑原町
- 事業内容：電線共同溝整備 延長 1,000m
- 事業期間：平成27年度～



事業位置
館林市

事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)

現道利用(車道と歩道の高さがフラットになる)



事業開始 ●

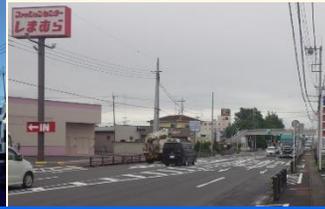
● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度は、引込用管路等の敷設工事及び歩道工事等を行います。



現在の工事状況



R6工事予定箇所



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

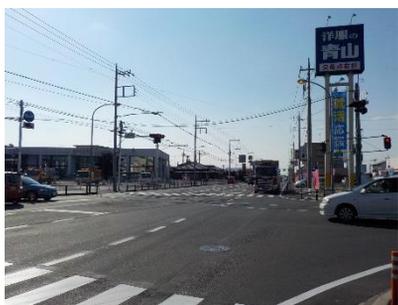
電線を地中化して 電柱を撤去します

地元の声

- ・東北自動車道にもつながる主要道路。災害時も通れるようにしてほしい。（地元住民）
- ・狭い歩道のなかに電柱があるため、歩きづらい。（地元住民）

事業前

- ◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆道路上の電柱がなくなり、災害時の安全な通行が確保されます。



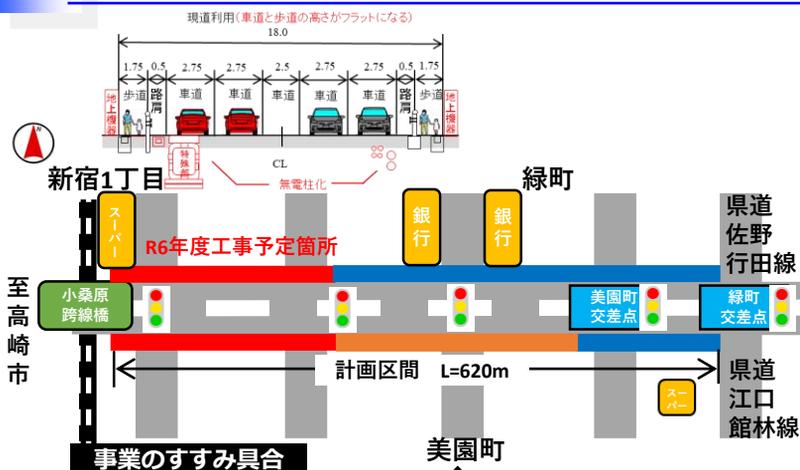
事業後のイメージ(一例)

事業の概要

- 事業箇所：館林市緑町
- 事業内容：電線共同溝整備 延長 1,240m
- 事業期間：平成27年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は、引き続き電線共同溝工事(電線を地中へ收容するための管路等の敷設)を進めます。



現在の工事状況



R6工事予定箇所



どのような未来を目指すための事業か

既存の社会資本の機能を維持させるため

老朽化した橋梁を 架け替えます

地元の声

- ・橋が古いので地震で壊れないか心配。（地元住民）
- ・幅が狭く、車でのすれ違いが大変。（地元住民）

事業前

◆老朽化によって、橋の健全度が低下しつつありました。また、耐震性が現行基準を満足していないため、大規模地震時に落橋等の可能性があります。



事業前の状況

事業後

◆橋梁の架け替えにより、橋の健全性を改善するとともに、耐震性能を満足させ、大規模地震時における安全な通行空間を確保します。



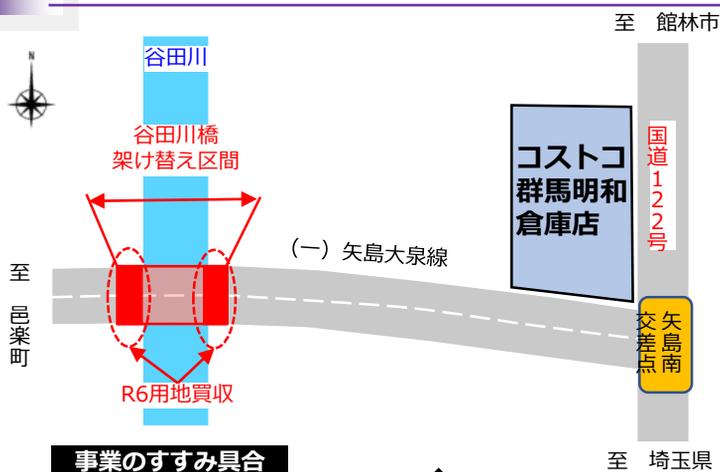
事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：館林市入ヶ谷町～明和町入ヶ谷
- 事業内容：老朽橋梁架替
延長 35.5m 道路幅 9.2m
- 事業期間：平成27年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は、用地買収を進めていきます。



事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

周辺地域との連携強化を図るため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・ 東部環状線の早期開通を望む。(地元住民)
- ・ 館林市のバイパス事業と連携させ、より利便性の高い道路にしてほしい。(道路利用者)

事業前

◆ 現道は急カーブがあるため、見通しが悪く、円滑な通行に支障があります。



事業前の状況

事業後

◆ 直線のバイパス道路が整備されることで、円滑な通行空間が確保されます。



事業後のイメージ

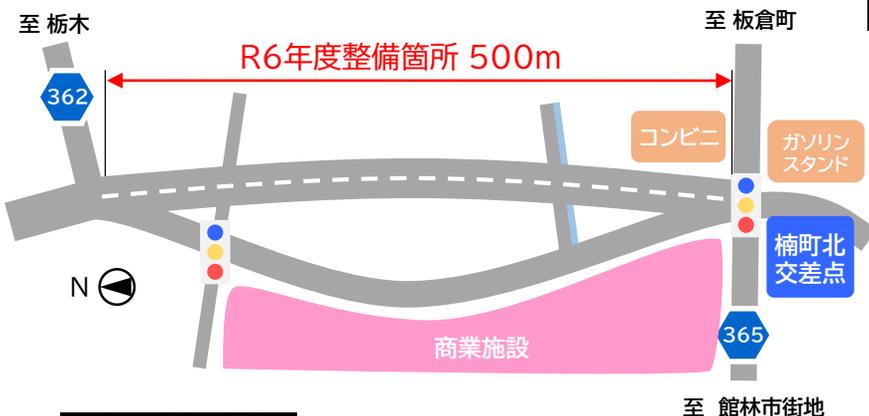
事業の概要

- 事業箇所：館林市楠町
- 事業内容：バイパス整備 延長500m 道路幅25.0m
- 事業期間：平成23年度～



事業位置 館林市

事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は、引き続き道路改良工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備しました

地元の声

- ・小学児童が毎日通っているため、歩道を整備してほしい。(学校関係者)
- ・大型車の交通量が多いが、歩道がないので怖い(地元住民)

事業前

◆歩道がなく路肩も狭いため、歩行者と車が混在する危険な状況にありました。



事業前の状況

事業後

◆歩行者と車を分離し、安全な歩行空間を確保しました。



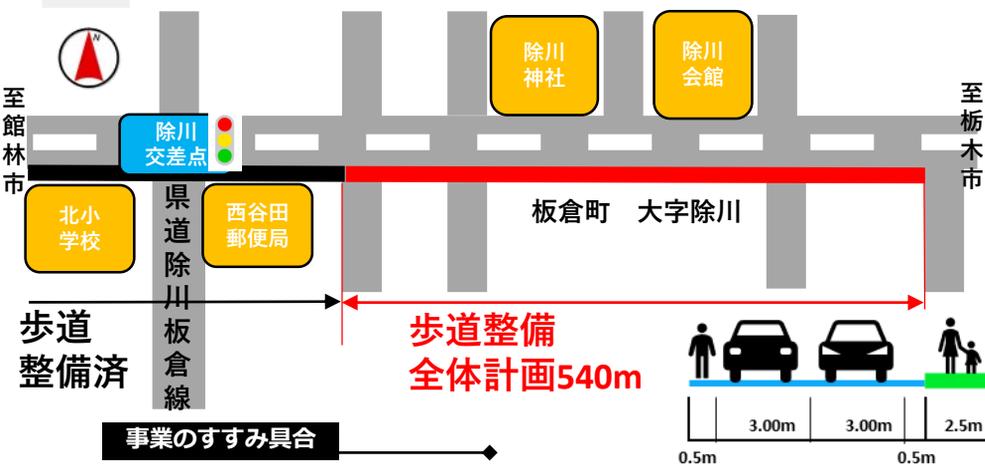
事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：板倉町除川
- 事業内容：歩道整備 延長 540m
歩道幅 2.5m
- 事業期間：平成26年度～令和2年度



事業の進捗状況 (令和2年度完了)



今、何をしているか

令和2年度に歩道整備工事が完成し、事業が完了しました。





どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備しました

地元の声

- ・歩道がなく、過去にも交通事故があった。(地元住民)
- ・小学生が毎日通っているため、歩道を整備してほしい。(地元住民)

事業前

◆歩道が無く、歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがありました。



事業前の状況

事業後

◆歩道を設置することで、歩行者の安全な通行空間を確保しました。



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：館林市高根
- 事業内容：歩道整備 延長 100m
歩道幅 2.5m
- 事業期間：平成29年度～令和2年度



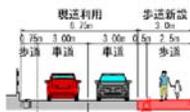
事業位置
館林市

事業の進捗状況 (令和2年度完了)

歩道整備
全体計画100m

館林市高根

歩道あり



今、何をしているか

令和2年度に歩道整備工事を完成し、事業が完了しました。



事業完了

事業開始

至 足利市

至 館林市街地

至 第八小学校

事業のすすみ具合



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道・自転車通行空間を整備します

地元の声

- ・ 小学児童が毎日通っているため、歩道を整備してほしい。(学校関係者)
- ・ 大型車の交通量が多いが、踏切前後の幅がせまくてうまくすれ違いできない。(地元住民)

事業前

- ◆ 踏切部に歩道が無く、歩行者、自転車と自動車とが分離されていないため、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 歩道を設置することで、歩行者、自転車と自動車を分離し、歩行者や自転車の安全な通行空間を確保します。



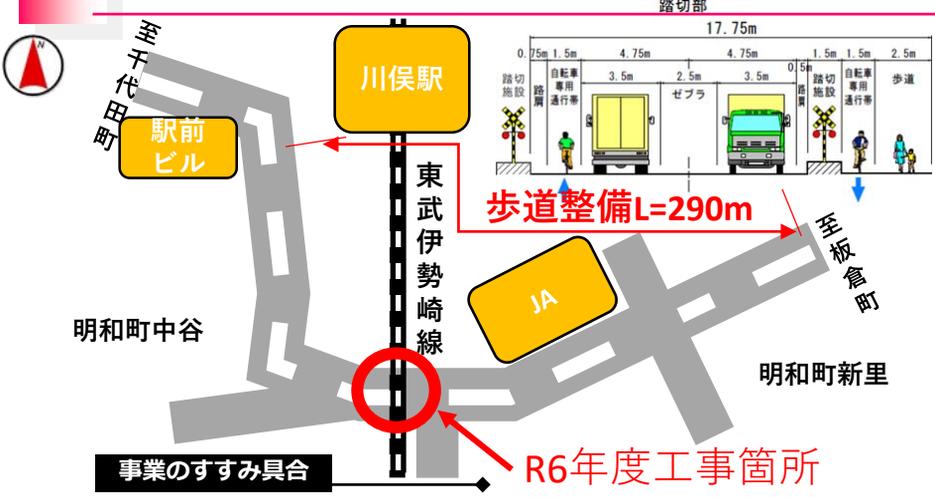
事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所 明和町中谷
- 事業内容 歩道整備 延長 290m
歩道幅 2.5m
- 事業期間：令和元年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は、踏切拡幅工事に着手します。





どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備しました

地元の声

- ・通学路に歩道が無く、大型車の交通量も多いため、とても危ない。(地元住民)
- ・カーブが多く、交差点の見通しが悪いため、たいへん危険である。(地元住民)

事業前

◆歩道が無く、歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがありました。



事業前の状況

事業後

◆歩道を設置することで、歩行者の安全な通行空間を確保しました。



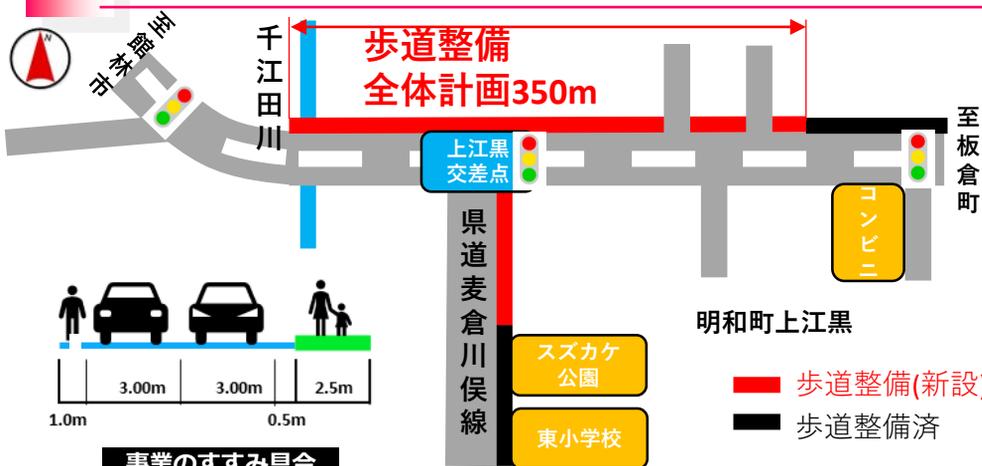
事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所 明和町上江黒
- 事業内容 歩道設置延長L=350m
歩道幅 2.5m
- 事業期間：平成28年度～令和5年度



事業の進捗状況 (令和5年度完了)



今、何をしているか

令和5年度に歩道整備工事が完成し、事業が完了しました。





どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・大型車の交通量が多いが、歩道が無いので怖い。（地元住民）
- ・小学生が毎日通っているため、歩道を整備してほしい。（地元住民）

事業前

- ◆ 歩道が無く、歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



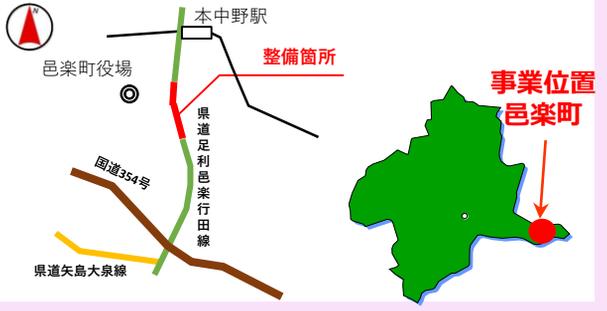
事業後

- ◆ 歩道と自転車専用通行帯を設置することで、歩行者と自転車の安全な通行空間を確保します。

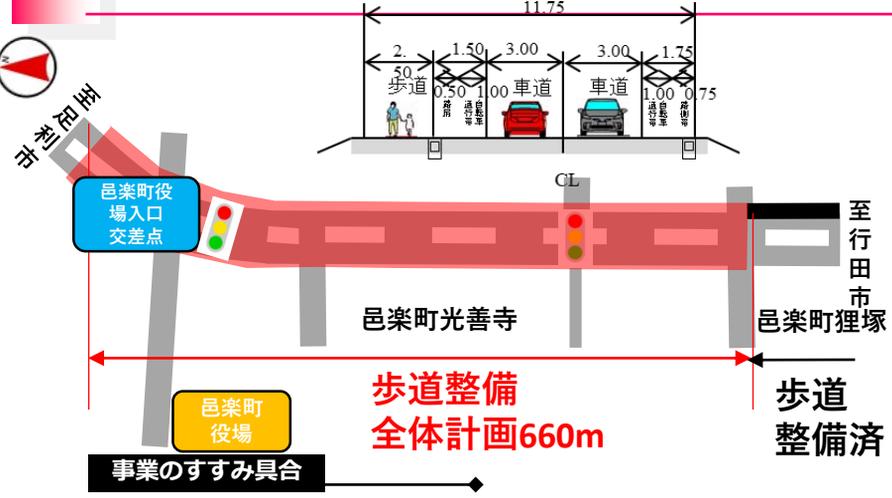


事業の概要

- 事業箇所 邑楽町光善寺
- 事業内容 歩道整備 延長 660m
歩道幅 2.5m
- 事業期間 令和元年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は用地買収を実施します。





どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道整備により、安全な通行空間を確保します

街中のにぎわいを創出するため (商店街の活性化)

無電柱化や景観設計により、「歩いて楽しい」歩行空間を創出します

地元の声

- ・歩道がないので、車や電柱にぶつかりそうで怖い。(通学利用者)
- ・子どもたちのために安全な道路にしてほしい。(地元住民)
- ・商店街を活性化してほしい。(地元住民)

事業前

- ◆ 歩道が無く、歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。
- ◆ 沿道に電柱が建っているため、歩行者の通行の妨げや、地震時倒壊の恐れがあるほか、商店街の景観を害しています。



事業前の状況

事業後

- ◆ 歩道を設置することで、歩行者の安全な通行空間を確保します。
- ◆ 沿道の商店街のにぎわいを創出するため、無電柱化、ベンチの配置、デザイン歩道等の景観整備を行い、「歩いて楽しい」魅力ある歩行空間を創出します。



完成図(イメージ)

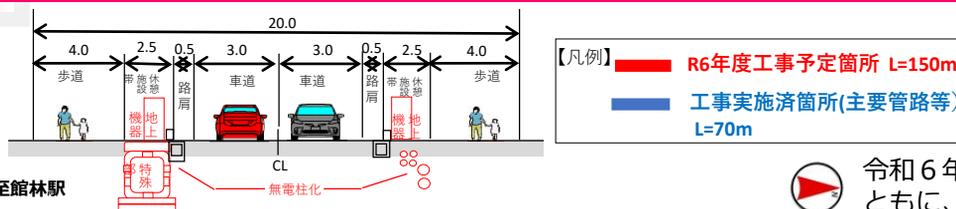
事業の概要

- 事業箇所：館林市本町
- 事業内容：歩道整備 延長 780m 歩道幅 4.0m
電線共同溝整備 延長 1,180m
- 事業期間：平成28年度～



事業位置 館林市

事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は、用地買収を進めるとともに、占用物件(水道等)の移設及び電線共同溝工事を実施します。

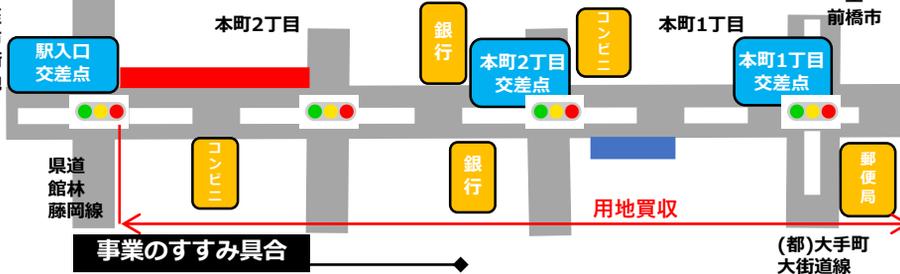


至市街地

至市街地



至前橋市



事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

電線を地中化して 電柱を撤去します

地元の声

- ・高崎市と邑楽町を結ぶ幹線道路。災害時も通れるようにしてほしい。(地元住民)
- ・狭い歩道のなかに電柱があるため、歩きづらい。(地元住民)

事業前

- ◆ 電柱が歩行者の通行を阻害し、歩きにくい状況です。
- ◆ 災害時に電柱が倒壊し、道路を寸断するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 道路上の電柱が無くなり、歩行者や自転車の安全な通行空間が確保されます。
- ◆ 災害時の安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：大泉町東小泉
- 事業内容：電線共同溝整備 延長 1,800m
- 事業期間：令和元年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は東小泉駅入口交差点部の本体工事と北側の本体工事を一部実施します。



事業のすすみ具合





どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

電線を地中化して 電柱を撤去します

地元の声

- ・佐野市と館林市、行田市等を結ぶ幹線道路。災害時も通れるようにしてほしい。(地元住民)
- ・狭い歩道のなかに電柱があるため、歩きづらい。(地元住民)

事業前

- ◆ 電柱が歩行者の通行を阻害し、歩きにくい状況です。
- ◆ 災害時に電柱が倒壊し、道路を寸断するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 道路上の電柱が無くなり、歩行者や自転車の安全な通行空間が確保されます。
- ◆ 災害時の安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ (一例)

事業の概要

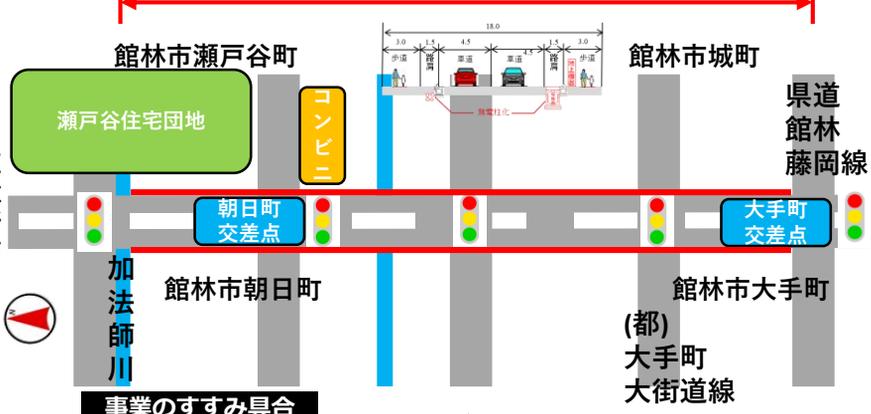
- 事業箇所：館林市大手町
- 事業内容：電線共同溝整備延長 1,240m
- 事業期間：令和5年度～



事業位置
館林市

事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)

計画延長 620m (電線共同溝整備延長 1,240m)



今、何をしているか

令和6年度は、街路樹の撤去と支障物件の移転を行います。



事業開始 ●

● 事業完了